

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 栃木県宇都宮市
本事業の担当部局名 魅力創造部都市ブランド戦略課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組					
個別事業名		宇都宮市とちぎ結婚支援センター入会登録料補助金				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和4年度
総事業費(A)(円)		1,700,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 1,700,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		1,700,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	1,700,000		1,700,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	1,700,000		1,700,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市では、近年の合計特殊出生率が経年的に低下傾向にあり、緊急に少子化対策を講じる必要がある(参考:合計特殊出生率1.29(R4)、1.41(R3)、1.40(R2))。このため、「第2次 宮っこ 子育て・子育て応援プラン(後期計画)」(令和7年2月策定)に基づき、主に若い世代が、自らの主体的な選択により、結婚し、子どもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望や状況に応じて、社会全体で支えることができるよう、結婚から妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援の充実に取り組んでいく。 <本個別事業の位置付け> 結婚を希望する全ての市民を支援するため、栃木県と県内市町等で構成するとちぎ未来クラブが設置する結婚支援の総合相談窓口であるとしぎ結婚支援センターに市民が入会する際の登録料を補助するもの				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	とちぎ結婚支援センターへの入会登録料補助	○対象者 - 本市に居住し、かつ、本市の住民基本台帳に記載されている者 - この補助金を過去に受けていない者 - 令和8年4月1日から令和9年3月31日までに入会登録した者 - 未婚者であること - 本市の市税を滞納していないこと - 婚姻後に継続して市内に居住する意思を有すると認められること。 - 暴力団員等でないこと ○補助対象経費 - センターの入会登録に係る費用のうち、他の制度による入会登録料補助受給額を除いた額(自己負担額) ○補助金額 - 入会登録時に39歳以下の者:補助対象経費の10分の10(上限10,000円) - 入会登録時に40歳以上の者:補助対象経費の2分の1(上限5,000円)				
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・本事業の周知をさらに図るため、市HPや広報紙のほか、婚活イベントでも補助制度のチラシを配布するなど、制度の周知をさらに図っていく。						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	希望出生率		‰	1.72以上(R11年度)	1.49(R5年度)
	宇都宮で子育てをしていきたいと思う親の割合		%	100(R11年)	96.5(R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.29(R4年)	
	婚姻件数		件	2,438(R4年)	
	婚姻率			4.4(R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	補助金申請数	人	180(R8年度)	100(R7年度見込)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	---
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				